

中小企業のためのものづくり生産性向上 研修のご案内

～ものづくり現場の生産性向上を実践的に身につける～

中小企業を取り巻く環境は厳しさを増していますが、中小企業の持続的な発展と成長を図るには、企業の中核を担う人材の育成がますます重要となっています。

このため、山口県、公益財団法人やまぐち産業振興財団では、県内中小企業における中核人材の育成を支援するため、「ものづくり現場の生産性向上」に的を絞った研修を実施します。ぜひ、ご参加ください。

■対象：県内中小企業の管理者、中核人材、後継者等

■開催期間：令和2年9月12日(土)・10月10日(土)
11月14日(土)・12月12日(土) 全4日
※詳細は裏面「スケジュール・カリキュラム」をご覧ください。

■開催場所：やまぐち創業応援スペース「mirai365」
山口市米屋町2-7 TEL：083-902-1365
※専用駐車場がありませんので、「山口市中心商店街 駐車場」(共通駐車サービス券を用意する予定です)をご利用ください。

■定員：15名

■参加費：無料

■研修内容：「実践形式で学ぶものづくり現場の生産性向上(ものづくり生産性向上)」

- ・本研修では、ものづくり現場の生産性の考え方、取り組み方を理解し、生産性向上への取り組み(演習)を通して、問題解決の基本ステップを身につけます。
- ・受講生が関係するものづくり現場の生産性向上を演習の題材として、問題解決のステップに準じて解決まで取り組みます。
- ・講義、演習を通して、生産性向上に関し、定量的に目に見える管理が日常管理として実践できるスキルを身につけます。
- ・グループ活動により他のメンバーの問題解決のプロセスを共有します。

■申込方法：財団の専用サイト<< <https://www.ymg-hrd.jp/> >>



もしくは裏面申込書に記入の上、FAX 又はメールにてお申し込みください。

■申込締切 令和2年8月31日(月) ※先着順に受付し、定員になり次第締め切ります。

■注意事項：・飲食は、各自で対応いただきます。
・本研修は、1社2名までのお申し込みとさせていただきます。
・4日間全ての日程に参加できる方を優先します。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響にて、やむを得ず研修の予定を変更または中止する場合があります。

最新の情報については、当財団研修サイトをご確認ください。
参加当日は、研修サイトに記載してある感染予防にご協力をお願いいたします。

■講師：NAO 中小企業診断士事務所(広島県府中町)代表 佐々木 尚樹 氏



略歴

大学卒業後、大手メーカーにて生産技術開発、VA/V E、取引先製造現場改等に従事した後、2016年に独立開業。これまで企業の製造現場改善に取組み、工場経営、現場改善、工程管理等において、各社の生産性向上等の支援を行っている。

公職等

中小企業診断士、(独)中小企業基盤整備機構中国本部経営支援チーフアドバイザー。
中小企業大学校広島校では「工場管理者養成コース」講師を務める。

■スケジュール・カリキュラム

開催日	カリキュラム (時間：各日とも10:00~17:00)	
	講義	演習
第1回 9月12日 (土)	■ものづくり現場の問題の捉え方 ・問題とは ・ものづくり現場の生産性に関する問題の捉え方 ■問題解決プロセス ・問題の把握 ・現状把握 ・目標設定 ■ものづくり現場の生産性向上の進め方 「現状把握のやり方」 ・生産性(出来高)の把握 ・稼働分析 ・改善ターゲット(改善の方向)の絞り込みと目標展開(管理指標(結果系/要因系指標)の設定)	■各自ものづくり現場の問題の生産性向上問題の紹介 ・会社紹介、職場紹介、工程説明 ・ものづくり現場の問題の生産性向上問題の説明 ■目標設定までに行うことの整理 ・個人:現状把握のアウトプットイメージ作り それを実現するための計画立案 ・グループ:相互発表とアドバイス ・個人:アウトプットイメージ、計画の修正 ・発表:アウトプットイメージ、計画の発表 次回までのインターバル期間は、自社において演習への自主活動を行います
第2回 10月10日 (土)	■問題解決プロセス ・要因分析 ・改善案立案 ■ものづくり現場の問題の生産性向上の進め方 「要因分析/対策立案」 ・改善ターゲット別要因分析の進め方 ・人作業の分析(ビデオからの作業山積表作成) ・機械動作の分析(サイクル線図の作成) ・改善の視点	■自主課題の確認 ・現状把握、目標値の報告 (問題の絞り込み、目標値の背景、意味) ■管理指標案出し、要因分析の進め方(手法) ・個人:管理指標、要因分析のイメージ作り ・グループ:相互発表とアドバイス ・個人:管理指標、要因分析の進め方の修正 ・発表:管理指標、要因分析の進め方の発表
第3回 11月14日 (土)	■問題解決プロセス ・成果の確認 ・歯止め(日所要管理への落とし込み) ・全体ストーリーの確認 ■ものづくり現場の問題の生産性向上 「成果の確認/歯止め」 ・要因系指標での成果の把握 ・標準類の作成/改訂 ・出来高管理	■自主課題の確認 ・要因分析のプロセスと結果の報告 ・改善案と実施状況の報告 ■成果のまとめ、歯止めの構成 ・個人:成果の表現、歯止めのイメージ作り ・グループ:相互発表とアドバイス ・個人:成果の表現、歯止めのイメージの修正 ・発表:成果の表現、歯止めのイメージの発表
第4回 12月12日 (土)	■ものづくり現場の生産性向上 ・講義全体の振り返り(ポイントのまとめ) アンケート	■成果報告会(受講生上司の参加) ・各自取り組んだものづくり現場の問題の生産性向上活動の報告